

## 大腸菌由来のホスファターゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1226

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明**

ホスファターゼは、基質からリン酸基を除去する酵素であり、リン酸モノエステルをリン酸イオンと自由水酸基を持つ分子に加水分解することによって機能します（脱リン酸化を参照）。この作用は、ATPのようなエネルギー分子を使用して基質にリン酸基を付加するリン酸化酵素やキナーゼの作用とは正反対です。多くの生物における一般的なホスファターゼはアルカリホスファターゼです。古細菌、細菌、真核生物に存在する別の大きなタンパク質群は、デオキシリボヌクレオチドおよびリボヌクレオチドホスファターゼまたはピロリン酸加水分解酵素の活性を示し、dNTP/NTPをdNDP/NDPおよび自由リン酸イオン、またはdNMP/NMPおよび自由ピロリン酸イオンに分解する触媒作用を持っています。ホスファターゼのもう一つのグループは、基質タンパク質のリン酸化されたアミノ酸残基からリン酸基を除去するタンパク質ホスファターゼと総称されます。タンパク質のリン酸化は、タンパク質キナーゼによって触媒される一般的な翻訳後修飾であり、タンパク質ホスファターゼはその効果を逆転させます。

**別名** HAD2

### 製品情報

由来	大腸菌株 K-12 サブストレイン MG1655
形態	3.2 M 硫酸アンモニウムで供給されます
EC番号	EC 3.1.3.-
分子量	26827.7 Da
純度	> SDS-PAGEによる評価で95%
活性	1.905 U/mg
濃度	13.54 U/ml
最適pH	5
最適温度	> 40°C
単位定義	1ユニットは、40°Cで6.8 mM MgCl <sub>2</sub> を含むpH 5.0の42.4 mM酢酸ナトリウムバッファー中で、pNP-リン酸（16.9 mM）から1μmolのpNPを1分間に放出するのに必要な酵素の量として定義され、消光係数は18000 M <sup>-1</sup> cm <sup>-1</sup> を使用します。

### 使用法とパッケージング

**調製方法** 使用前に酵素沈殿を完全に均一化するために、バイアルを十分に振とうしてください。

### 保管・発送情報

**保存方法** 4°Cで保管してください（常温で発送されます）